

作業名 (機械・設備)	危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	既存の災害 防止対策	リスクの見積り				リスク低減措置案	措置案想定リスクの 見積り				備考
			頻 度	可 能 性	重 篤 度	リ ス ク		頻 度	可 能 性	重 篤 度	リ ス ク	
点検作業	作業員がゴンドラの定期自主点検に行く際に、タラップを踏み外して墜落死する。	安全教育	1	4	10	IV (15)	①安全带・保護帽の着用 ②ゴンドラ取扱い教育の再徹底	1	2	10	IV (13)	
点検作業	作業員がポンプの点検中、伸縮型はしごの止め金具のロックが外れて墜落し頭部を強打する。	安全教育	2	4	6	IV (12)	作業前の使用器具点検の実施	1	2	6	III (9)	※ 保護帽
保守作業	作業員が照明器具の移設作業中、低圧用ゴム手袋を使用せずに作業をして感電する。	安全教育	1	4	10	IV (15)	①充電作業の原則禁止 ②作業工程の見直しと電気用ゴム手袋、長靴の使用	1	2	10	IV (13)	

警備防災

警備防災	警備員が、夜間の巡回をしているとき、足元が暗かったので、階段を踏み外して転落し、足を骨折する。	懐中電灯の携帯	1	2	6	III (9)	・手すりの設置 ・充分に足元を確認しての巡回指導	1	1	6	II (8)	
警備防災	警備員がスタジアムの巡回中、階段の踊り場が濡れていたため、足を滑らせて転倒し、頭部を強打する。	安全教育	2	4	6	IV (12)	・充分に足元を確認 ・打合せの時注意	1	2	6	III (9)	・清掃業者等協力業者との 打ち合わせ ※ 耐滑性安全靴
警備防災	警備員が、冬期間、屋外の夜間巡回をしているとき、地面が凍結していたため滑って転倒し、氷結路面で打撲する。	作業手順書	2	4	6	IV (12)	凍結が予想される時は滑り止め等の安全措置	1	2	6	III (9)	※ 耐滑性安全靴
警備防災	警備員が階段を上がる時、段差につまずき転倒しそうになり、左足で踏ん張ったため足の筋を痛める。	安全教育	2	2	3	II (7)	・段差部にトラテープを貼る ・充分に足元を注意する	1	2	3	II (6)	
警備防災	警備員が、夜間の見廻中、屋外の鉄製の非常階段を下りている時に足を滑らせて転落し、全身を強打する。	作業手順書	2	4	6	IV (12)	・手すりを使用 ・滑り止めを設置	1	2	3	II (6)	・滑り止めを設置しても起因 の鉄製階段はそのままの で充分注意する
警備防災	警備員が、夜間のトラックターミナルにおいて巡回中、倉庫の荷物積み下ろしホームより転落し、頭部を骨折する。	安全教育	1	4	6	III (11)	・照明器具を取り付ける ・保護帽を使用	1	1	6	II (8)	・段差がある以上これからも 同様の事故が想定される為 繰り返し注意を促す ※ 保護帽
警備防災	タワーパーキングのターンテーブル操作中、車両の先端部がテーブルからせり出していたため、他車の誘導をしていた警備員に接触する。	安全教育	2	4	3	III (9)	車長を充分把握し周囲に注意を払い、同時に誘導しない	1	2	3	II (6)	・常にハミ出しの危険性は 残る為車長に注意する
警備防災	警備員が、駐車車両をバックで出庫させる際、後退しながらの誘導であったため、歩道の縁石に気が付かずにつまずいて転倒し、打撲する。	作業手順書	2	2	3	II (7)	後ろ向き誘導は避ける	1	1	3	I (5)	・誘導車両と他の車両及び 人との危険は常に発生する

※印は、残留リスクに対する保護具の一例です。